

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
21131	法河川管理事業	都市整備部	道路河川管理課	2
21131	準用河川改修事業	都市整備部	道路河川管理課	3
21131	治水等促進団体運営事業	都市整備部	道路河川管理課	4
21132	河川水路管理事業	都市整備部	道路河川管理課	5
21132	河川水路施設管理事業	都市整備部	道路河川管理課	6
51111	道路情報整備事業	都市整備部	道路河川管理課	7
51111	道路等管理事業	都市整備部	道路河川管理課	8
51111	橋梁等管理事業	都市整備部	道路河川管理課	9
51111	道路環境管理事業	都市整備部	道路河川管理課	10
51111	松山マイロードふれあい制度	都市整備部	道路河川管理課	11
51111	私道整備事業	都市整備部	道路河川管理課	12
51111	交通安全施設(二種)整備	都市整備部	道路河川管理課	13

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	法河川管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21131							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		—	—	—	—	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令	河川法第16条				
取組みの柱	河川改修の推進						
目的・背景	河川法第16条の規定に基づき、安全・安心が持続可能な河川管理を実現するために必要な河川の品質を設定し、点検、除草、堆積土砂の撤去、樹木伐採などを実施している。 堆積土砂撤去等を実施することにより、河川の流下断面を確保し、河川災害の発生を防止することを目的としている。						
対象・内容	管理している準用河川に対して、流下断面を確保するため、堆積土砂撤去等の工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	準用河川の堆積土砂 撤去工事費		2,972
予算 (千円)	事業費計	6,796	6,796	11,239			河川管理道路の草刈等 委託料		1,420
	国費・県費								
	市債	3,600	3,600	6,600					
	その他								
	一般財源	3,196	3,196	4,639					
決算 (千円)	事業費計	6,074	5,028			主な 取組 内容 【R6】	・準用河川の浚渫工事を実施 ・河川管理道の草刈等を実施		
	国費・県費								
	市債	3,200	2,900						
	その他								
	一般財源	2,874	2,128						
	(執行率)	89%	74%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	施設破損		目標	0	0	0	0	適切に事業実施できている。	
			実績	0	0				
	現状維持	箇所	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業全体を通して、河川の流下断面確保に貢献できたため。							
課題	特に無し。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	河川災害の予防に貢献できているため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	準用河川改修事業	事業性質	1-2:自治事務(できる規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21131							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		○	－			
施策	防災対策等の推進		○	－	－	－	
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令	河川法第100条				
取組みの柱	河川改修の推進						
目的・背景	市が管理する準用河川(太山寺川、堂之元川、三反地川、村中川、久保田川、草葉川、光正寺川、傍示川、天王川、長沢川の10河川)の浸水被害の解消を目的とする。 洪水による災害発生の防止を行うことにより、流域住民の生命と財産を守る。						
対象・内容	管理している準用河川に対して、流下断面を確保するため、改修及び補修の工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川改修費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	太山寺川改修等工事費		70,537
予算 (千円)	事業費計	105,718	91,858	9,765			村中川河川台帳整備業務委託料		8,512
	国費・県費								
	市債	76,000	75,700						
	その他								
	一般財源	29,718	16,158	9,765					
決算 (千円)	事業費計	16,177	79,268			主な 取組 内容 【R6】	・太山寺川の改修工事を実施 ・村中川の河川台帳整備を実施		
	国費・県費								
	市債	200	69,700						
	その他								
	一般財源	15,977	9,568						
	(執行率)	15%	86%						
人役	正規職員	1.4	1.4	1.4		特記 事項	準用河川(太山寺川)の改修工事がR6年度で完了。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.4	1.4	1.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
活動 指標	準用河川 太山寺川改修工事	目指す方向性	目標	40	40	0	0	適切に事業実施できている。
		単位	実績	40	40			
	現状維持	m	達成率	100%	100%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	計画通り洪水予防対策を進めることができたため。						
課題	特に無し。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	河川災害の予防に貢献できているため。	

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	治水等促進団体運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
21131							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	災害等に強いまちをつくる		—	—	—	—	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令					
取組みの柱	河川改修の推進						
目的・背景	四国及び周辺市町で構成する治水事業の促進を目的とした協議会など(四国河川協議会、四国治水期成同盟連合会、重信川・石手川治水同盟会)への参画や、河川・海岸に関する情報共有や知識の向上を図るための全国組織(日本河川協会及び全国海岸協会)へ参加している。						
対象・内容	○四国河川協議会:四国の二級河川、準用河川の治水事業を促進するための活動を行い、市内の河川整備等を推進し、流域住民等の水害被害を軽減する。(R5～松山市長が会長) ○四国治水期成同盟連合会:四国の一級河川が流れる市町村が加盟し、流域における産業発展、生活向上のため治水事業の早期完成を推進する。 ○重信川・石手川治水同盟会:3市2町(松山、伊予、東温、松前、砥部)で構成する同盟会の事務局として、国への要望活動などを行う。(松山市長が会長) ○日本河川協会:安全かつ快適で自然豊かな河川を実施するための活動を行う。 ○全国海岸協会:海岸に関する知識の普及、海岸事業の推進を図るための活動を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	河川総務費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	第1回、第2回要望活 動用務旅費		640
予算 (千円)	事業費計	1,626	1,981	1,759			日本河川協会等負担金		100
	国費・県費								
	市債								
	その他	758	1,115	784					
	一般財源	868	866	975					
決算 (千円)	事業費計	1,542	753			主な 取組 内容 【R6】	四国地方治水大会(高知市)、 四国河川協議会総会(香川県丸亀市)、 四国河川協議会要望活動(東京都)等への 出席、参加。		
	国費・県費								
	市債								
	その他		643						
	一般財源	1,542	110						
	(執行率)	95%	38%						
人役	正規職員	1.3	1.1	1.3		特記 事項	重信川・石手川治水同盟会の活動予算にお いて、繰越金の増加により分担金の徴収が なかったため。		
	その他	0.0	0.2	0.0					
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	要望活動参加回数		目標	2	2	2	2	四国河川協議会など参画する各団体と協力し、計画通り年度2回(夏、秋)の要望活動を行うことができた。	
			実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	本市単独ではなく、関係団体と協力し適時の積極的な要望活動を行うことにより、本市流域治水の促進を図ることができたため。							
課題	特に無し。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	現状の活動内容により、事業の目的が達成できているため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	河川水路管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
21132							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		—	—			
施策	防災対策等の推進		—	—			
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令					
取組みの柱	浸水対策及び耐水化の推進						
目的・背景	老朽化及び断面不足となっている水路を改良整備することで、排水機能を確保する。						
対象・内容	水路の排水機能を確保するため、改良及び補修の工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	水路の補修工事費		361,240
予算 (千円)	事業費計	659,079	604,467	467,173			水路改良等の委託料	18,783	
	国費・県費								
	市債	2,000	2,000						
	その他			13					
	一般財源	657,079	602,467	467,160					
決算 (千円)	事業費計	431,975	386,004			主な 取組 内容 【R6】	法定外水路の改良及び補修工事を実施		
	国費・県費								
	市債	1,900	1,900						
	その他								
	一般財源	430,075	384,104						
	(執行率)	66%	64%						
人役	正規職員	4.1	5.0	5.0		特記 事項			
	その他								
	合計	4.1	5.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	改良整備に伴う改善率		目標	100	100	100	100	適切に事業実施できている。	
			実績	100	100				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	事業全体を通して、浸水被害の軽減に貢献できたため。							
課題	特に無し。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	排水機能の維持管理及び向上に貢献できているため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	河川・水路担当	連絡先	948-6521
------	-------	-----	---------	-----	---------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	河川水路施設管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
21132							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	災害等に強いまちをつくる		—	—	—	—	
施策	防災対策等の推進						
主な取組	浸水対策・がけ崩れ対策の推進	根拠法令					
取組みの柱	浸水対策及び耐水化の推進						
目的・背景	ポンプ場及び水門の定期点検等を実施することで、故障等を未然に発見・修理して確実に運転させ、浸水及び事故の発生を防止する。						
対象・内容	ポンプ場及び水門に対して、定期的な点検整備業務を委託し、確実な運転をサポートする。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	河川費	目	下水排水路費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	ポンプ施設の光熱水費		36,844
予算 (千円)	事業費計	128,088	191,152	197,668			河川水路施設の保守、 点検業務等の委託料		34,805
	国費・県費	1,190	1,126	1,126					
	市債								
	その他								
	一般財源	126,898	190,026	196,542					
決算 (千円)	事業費計	108,309	150,798			主な 取組 内容 【R6】	定期的な保守、点検業務等を委託		
	国費・県費	1,126	1,126						
	市債								
	その他								
	一般財源	107,183	149,672						
	(執行率)	85%	79%						
人役	正規職員	4.2	4.2	4.2		特記 事項			
	その他								
	合計	4.2	4.2	4.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	稼働率		目標	100	100	100	100	ポンプ場1箇所で付属機器の故障が発生し、稼働率が下がったが、速やかに機器交換を行い復旧した。	
			実績	100	99				
	現状維持	%	達成率	100%	99%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	付属機器の故障が発生し、稼働率が下がったが、速やかな復旧を行っているため。							
課題	特に無し。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	浸水対策に貢献できているため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	路政担当	連絡先	948-6472
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道路情報整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—			
施策	居住環境の整備		—	—			
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法(昭和27年)第28条				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	道路管理者は、道路法第28条に基づき道路台帳を調整し保管しなければならないため、市道の新設や改良などに併せて市道の情報を更新する必要がある。松山市では、市道区域の明確化等を目的に、平成8年度から都市情報システムの運用を開始し、市道管理業務の迅速化及び庁内での情報共有を図っている。 また、市道の維持管理を適切に行うことを目的として、市道内に存在する民有地の解消に努めている。						
対象・内容	・市道を対象に道路台帳を作成する。 ・都市情報システムを用いて、関係各課に対し都市計画、道路、河川、上下水道、建築、公園、文化財及び農地等の都市情報を共有する。 ・市道内に存在する民有地(建築後退部分含)を対象に、所有者から寄附の申請を受け、測量及び登記を行う。 ・地籍調査等で市道内の民有地が判明した土地所有者に対して、寄附の勧奨を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	未登記処理及び 建築後退用地等 地図作成業務委託料		26,229
予算 (千円)	事業費計	98,870	53,475	64,320			道路台帳作成業務委託料		15,116
	国費・県費	8,410							
	市債								
	その他	900	900	900					
	一般財源	89,560	52,575	63,420					
決算 (千円)	事業費計	91,327	49,732			主な取組 内容 【R6】	・道路台帳作成業務 ・道路内民有地の所有者からの寄附申請に伴う土地測量・分筆及び所有権移転業務		
	国費・県費	21,907							
	市債								
	その他	918	680						
	一般財源	68,502	49,052						
	(執行率)	92%	93%						
人役	正規職員	10.0	10.0	5.0		特記事項			
	その他	2.0	1.0						
	合計	12.0	11.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)
	目指す方向性	単位						
成果指標	市道内民有地の 所有権移転数		目標	150	150	150	150	令和6年度は市道内民地の寄附採納を 243筆(3,806.49㎡)行った。
			実績	237	243			
	現状維持	筆数	達成率	158%	162%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	・予定していた道路台帳の整備及び都市情報システムの更新ができた。 ・寄附申請のあった市道内民有地の測量・分筆を行い、寄附採納することができた。						
課題	市道路管理者として管理している道路内に民有地が今だ多く存在している状況である。これらに加え、建築後退用地についても引き続き所有権移転登記を進めていく必要がある。				今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	今後も引き続き市道内民有地の解消に努めていくため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6478
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道路等管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	舗装や道路施設の老朽化等により歩行者や車両の通行に支障がないよう、適切に維持管理する必要があることから、市道の路面や道路施設を適正に維持管理することで、事故の防止と通行の円滑化を目的とする。						
対象・内容	市道や道路施設を対象に、路面の定期点検や計画に基づき、補修工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な経費 (千円) 【R6 決算】	市道の補修工事費		577,698
予算 (千円)	事業費計	764,624	783,054	456,288					
	国費・県費	70,619	45,374	49,625					
	市債	85,300	180,900	165,900					
	その他	98,000	100,000	100,001					
	一般財源	510,705	456,780	140,762					
決算 (千円)	事業費計	600,877	583,342			主な取組 内容 【R6】	・市道の舗装補修工事 ・路面下空洞調査 ・道路排水施設及び路肩復旧等の工事		
	国費・県費	53,180	29,518						
	市債	62,400	119,000						
	その他	100,284	100,686						
	一般財源	385,013	334,138						
	(執行率)	79%	74%						
人役	正規職員	3.4	3.4	3.4		特記 事項	R5年度から陥没補修等の業務は、 みち水路メンテナンス課が所管。		
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	3.5	3.5	3.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	道路機能保全対策事業等工事着手数		目標	5	8	7	4	適切に事業実施できている。	
			実績	5	8				
	単年で増	路線	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道路施設の適切な維持管理に努めた。							
課題	老朽化により、維持管理が必要な箇所が増大しているため、補修、更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き道路及び道路施設の適切な維持管理に努めるため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6478
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	橋梁等管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—	—	—	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	橋梁の老朽化等により歩行者や車両の通行に支障が生じないよう、計画的に橋梁の維持管理を実施し、橋梁の長寿命化及び維持管理コストの平準化を図る。						
対象・内容	橋梁の長寿命化を図るため、道路橋梁を対象に補修工事を行い機能を回復させる。 また、法令の規定に基づき、5年に1度の法定点検を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	橋梁の補修工事費		132,633
予算 (千円)	事業費計	677,181	617,701	732,047			橋梁の法定点検費		30,586
	国費・県費	360,291	325,528	385,914					
	市債	159,800	196,400	210,800					
	その他								
	一般財源	157,090	95,773	135,333					
決算 (千円)	事業費計	426,158	197,078			主な 取組 内容 【R6】	・橋梁の補修工事を実施 ・橋梁の法定点検を実施		
	国費・県費	218,571	95,035						
	市債	147,100	50,900						
	その他								
	一般財源	60,487	51,143						
	(執行率)	63%	32%						
人役	正規職員	2.1	2.1	2.1		特記 事項	R6年度内に工事等が完成しなかったため、約1億7,700万円繰越。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	2.1	2.1	2.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	長寿命化工事着手数		目標	5	6	7	7	適切に事業実施できている。	
			実績	5	6				
	単年で増	橋	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	橋梁の適切な維持管理に努めた。							
課題	老朽化により、維持管理が必要な箇所が増加しているため、補修・更新等を効率的かつ計画的に行う必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き橋梁の適切な維持管理に努めるため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6478
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	道路環境管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—			
施策	居住環境の整備		—	—			
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	路面及び道路照明灯等は定期的かつ適切な維持管理が必要であることから、通行に支障が生じないよう道路環境の維持管理を行う。						
対象・内容	路面及び道路照明灯等の維持管理を適切に行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	道路照明灯の電気料金		24,412
予算 (千円)	事業費計	564,554	27,455	32,166			道路照明灯の維持管理 業務委託料		4,965
	国費・県費	127,398							
	市債	219,400							
	その他								
	一般財源	217,756	27,455	32,166					
決算 (千円)	事業費計	555,740	32,834			主な 取組 内容 【R6】	路面や道路照明灯等の維持管理		
	国費・県費	120,249							
	市債	210,400							
	その他								
	一般財源	225,091	32,834						
	(執行率)	98%	120%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項	R5年度から街路樹の業務は、みち水路メン テナンス課が所管。 R6年度は道路照明灯に係る電気料金が当 初想定していた予算額を上回った。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和18年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果 指標	道路照明灯のLED化		目標	50	95	95	100	適切に事業実施できている。	
			実績	95	95				
	累計で増	%	達成率	190.0%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道路照明灯のLED化を適切に行うことができたため。							
課題	道路照明灯の管理コストを低減させる必要がある。					今後の 方向性	見直しを検討	左記の 理由	ESCO事業の状況を見ながら、現行の 事務事業の形を見直す必要がある。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	総務担当	連絡先	948-6907
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山マイロードふれあい制度	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	快適な生活基盤をつくる		－	－	－	－	
施策	居住環境の整備						
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	まつやまマイロードサポーター事業実施要綱、 まつやまマイロードコミュニティ事業補助金交付要綱				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	市道の環境美化活動を通じて、身近な存在である市道の愛護意識の向上を図る。						
対象・内容	市道で種苗の植栽や清掃活動を行う団体及び個人に対し、種苗や清掃用具等を支給する。 また、事前に市が認定した市道沿線で除草を行うまちづくり協議会に対し、補助金を支給する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	道路橋梁維持費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	消耗品費 (種苗、清掃用具等)		1,199
予算 (千円)	事業費計	1,615	1,587	1,341			除草費用に対する補助金	138	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,615	1,587	1,341					
決算 (千円)	事業費計	985	1,547			主な 取組 内容 【R6】	市道の清掃美化活動等を行う団体に 物品や種苗の提供を行った。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	985	1,547						
	(執行率)	61%	97%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和11年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	物品の支給 (種苗除く)		目標	-	40	40	40	適切に事業が実施できている。	
			実績	40	40				
	現状維持	団体	達成率	-	100%				
成果指標	活動団体数 (休止団体除く)		目標	-	70	70	71	毎年8月の道路ふれあい月間に広報まつやまにて、ボランティア団体の募集記事を掲載するなどにより、追加団体が3団体、再開団体が1団体あった。	
			実績	68	70				
	現状維持	団体	達成率	-	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	R6年度末時点で目標値であった登録団体数70団体を達成したため。市道の清掃活動や植栽を実施いただき、安全で快適な道路環境づくりにつながっている。							
課題	活動団体員の高齢化による活動の縮小					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き団体の活動を支援することで縮小したボランティア活動の回復を図り、市道の愛護意識の向上につなげる。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	計画担当	連絡先	948-6834
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	私道整備事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—			
施策	居住環境の整備		—	—			
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	松山市私道整備事業実施要綱				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	一般通行の用に供される公共性がある私道の整備を促進し、市民の生活環境の向上を図ることを目的に、昭和48年10月に「松山市私道整備事業実施要綱」を制定し、以降、要件を満たす私道の舗装に取り組んでいる。						
対象・内容	「松山市私道整備事業実施要綱」の要件を満たす私道を対象に、路面の舗装を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	私道整備事業費
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	私道の舗装補修工事費	4,472	
予算 (千円)	事業費計	36,854	14,665	8,500					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	36,854	14,665	8,500					
決算 (千円)	事業費計	31,299	4,472			主な 取組 内容 【R6】	申請に基づき私道の舗装工事を実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	31,299	4,472						
	(執行率)	85%	30%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	R6年度は申請要件を満たす件数が当初想定していた件数を下回った。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	前年度申請に対する工事完了件数		目標	2	6	5	-	適切に事業実施出来ている。	
			実績	2	6				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	申請を受付けた箇所について、舗装工事を実施することが出来た。							
課題	私道管理者の高齢化等により、個人での維持管理が難しくなってきた。 いる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	私道の維持管理への補助については、費用対効果など、慎重に検討する必要があるため。

令和7年度 松山市事務事業シート（令和6年度実績分）

部局等名	都市整備部	課等名	道路河川管理課	担当G	道路担当	連絡先	948-6478
------	-------	-----	---------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	交通安全施設(二種)整備	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
51111							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	快適な生活基盤をつくる		—	—			
施策	居住環境の整備		—	—			
主な取組	生活道路等の整備・維持管理	根拠法令	道路法				
取組みの柱	生活道路等の維持管理						
目的・背景	交通事情の悪化による交通事故の増加に対し、早急な交通安全施設の整備を実施することにより、交通事故の防止と交通の円滑化を図る。						
対象・内容	交通事故が多発している道路その他通学路等の特に交通の安全を確保する必要がある道路について、道路標識、防護柵及び区画線等の安全対策に必要な交通安全施設の整備を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	土木費	項	道路橋梁費	目	交通安全施設 (二種)整備
事業費／財源		令和5年度	令和6年度	令和7年度		主な 経費 (千円) 【R6 決算】	交通安全施設整備の 工事費		52,152
予算 (千円)	事業費計	92,429	85,794	40,011					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	92,429	85,794	40,011					
決算 (千円)	事業費計	82,010	52,152			主な 取組 内容 【R6】	区画線及び防護柵等の設置		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	82,010	52,152						
	(執行率)	89%	61%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	R5年度からカーブミラーの業務は、 みち水路メンテナンス課が所管。		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和6年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	工事着手件数		目標	100	100	100	100	申請や通報を受けた案件について、速やかに工事着手することが出来た。	
			実績	148	100				
	現状維持	件	達成率	148.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	本事業の実施により交通事故の防止と交通の円滑化に資することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き交通安全施設の適切な維持管理に努めるため。